

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科P I C Uに入院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科P I C Uでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

PICU内における末梢点滴固定法変更に伴う前後比較による横断研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院 PICU 福山稚尋

3. 研究の目的

小児は成人と比較し血管が細いことや皮膚の脆弱性から点滴の血管外漏出や皮膚トラブルが起きやすく、成長発達段階によって状況把握や指示の理解が困難であることが多く、激しい啼泣や体動時にはルート類の計画外抜去のリスクも高いと言われています。PICUでも確実なルート固定を行うためマイクロポアとシーネによる固定(以下、従来法とする)を行っていましたが、留置針による圧迫を最小限に抑え、刺入部の観察が容易であるフィルムドレッシング材による固定方法(以下、新固定法とする)に変更しました。今回はPICUにおける従来法と新固定法の実態調査を行うことを目的に研究を実施します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成28年2月～29年1月、平成29年4月～30年3月にPICUに入室し、4日以上在室した方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、入室時体重、疾患名、末梢留置部位、末梢点滴留置期間、持続鎮静の使用、IV薬の使用、留置期間中の再固定、計画外抜去、血管外漏出、発赤、腫脹、スキントラブル、潰瘍形成、再留置に関する情報です。

(3) 方法

従来法群と新固定法群に分けて各項目について比較検討を行います

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院 PICU 看護科長 山本 亜希子

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : yamamoto.akiko@aijinkai-group.com